

地方農村開発信用事業(2)~(5)

評価報告：2000年2月

1 事業の概要と国際協力銀行の協力

(1) 目的と概要

本事業は、タイ地方貧困地域の小規模農家の生産・所得の増加を目的とし、これら小規模農家の投資資金を、農業・農業協同組合銀行（Bank for Agriculture and Agricultural Cooperatives、以下BAAC）を通じて融資するツー・ステップ・ローンである。農民への作物生産のための融資に加え、(2)期事業では、農業協同組合活性化のためのサブ・ローンおよびコンサルティング・サービスが、(3)期事業では農業関連活動活発化のためのサブ・ローン（農産物処理加工用機具および運搬用機器の購入資金）が、(4)期事業、(5)期事業では植林事業、および環境保全施設への農業投資（環境保全施設は(5)期事業のみ）が、事業範囲に含まれている。尚、作物生産は、貧困地区の北タイ、東北タイを中心とした46県が本事業の対象であり、植林・環境保全などは、全国を対象としている。



(2) 事業範囲

本事業は開発金融借款であり、サブ・ローンの条件は以下のとおり。

	地方農村開発信用事業(2)	同(3)	同(4)	同(5)
対象項目	個人農民による 作物生産への事業投資 農業協同組合の 事業活動	個人農民による 作物生産への事業投資 個人農民による 農業関連活動への投資	以下の個人農民による事業投資 植林事業 作物生産	以下の個人農民による事業投資 植林事業 環境保全関連施設(バィカスプラント) 作物生産
対象者	年間所得40千バィ-ツ以下の個人農民 農業協同組合	以下の個人農民 作物生産：年間所得40千バィ-ツ以下 農業関連活動：年間所得200千バィ-ツ以下	以下の個人農民 植林：年間所得条件無し 作物生産：年間所得50千バィ-ツ以下	以下の個人農民 植林・環境保全：年間所得条件無し 作物生産：年間所得60千バィ-ツ以下
償還	個人農民：20年以内 (据置期間金利8年以内、元金12年以内を含む) 農業協同組合：15-20年以内(据置期間5年以内を含む)	作物生産：20年以内 (据置期間金利8年以内、元金12年以内を含む) 農業関連活動：20年以内(据置期間5年以内を含む)	植林：15年以内(据置期間15年以内を含む) 作物生産：20年以内 (据置期間金利8年以内、元金12年以内を含む)	植林：15年以内(据置期間15年以内を含む) 環境保全および作物生産：20年以内(据置期間金利8年以内、元金12年以内を含む)
年金利	個人農民：9% 農業協同組合：融資条件はBAACの基準No26と同じ。10~13.5%	BAACの標準金利と同じ。 作物生産：60千バィ-ツ以下=10%、60,001~1,000千バィ-ツ以下=11.25%、1,000千バィ-ツ超=13.5% 農業関連活動：60千バィ-ツ以下=10.5%、60,001~1,000千バィ-ツ以下=11.5%、1,000千バィ-ツ超=12.5%	BAACの標準金利と同じ：60千バィ-ツ以下=9%、60,001~1,000千バィ-ツ以下=11.25%、1,000千バィ-ツ超=13.5%	植林・環境保全：BAACの標準金利((4)期事業参照)より1.75%低い金利。 作物生産：BAACの標準金利。
融資金額	個人農民：10千~5,000千バィ-ツ 農業協同組合：5,000千バィ-ツ以下	作物生産：10千~5,000千バィ-ツ 農業関連活動：5,000千バィ-ツ以下	10千~5,000千バィ-ツ	10千~15,000千バィ-ツ

(3) 借入人/実施機関

タイ王国政府/農業・農業協同組合銀行(BAAC)

(4) 借款契約概要

	地方農村開発信用事業(2)	同(3)	同(4)	同(5)
借款額 (貸付実行率)	3,532百万円 (100%)	8,350百万円 (100%)	4,228百万円 (100%)	12,300百万円 (1999年3月現在84.1%)
借款契約調印	1993年9月	1995年9月	1996年9月	1997年9月
貸付完了	1997年12月	1997年9月	1998年5月	進行中 (2003年1月予定)
年金利	3%	2.7%	2.5%又は2.7% ¹⁾	0.75%又は2.7% ²⁾
償還 (うち据置)	25年(7年)	25年(7年)	25年(7年)	40年又は25年 ³⁾ (10年又は7年)

注：1) 植林:2.5%、作物生産2.7%
2) 環境関連:0.75%、その他:2.7%
3) 環境関連:40年(据置10年)、その他25年(据置7年)

2 評価結果

(1) サブローン実績（実施機関からエンドユーザーへの融資）（表1、表2参照）

地方農村開発信用事業（2）

サブローン対象項目の基本的な事業範囲の変更は無かった。事業実施に係るコンサルティング・サービス（サブローン実施に係るアドバイス、生産・マーケティングに係るアドバイスなど）は、実施されなかったが、(i) 過去の雇用、BAAC自身の経験等の蓄積があること、(ii) 必要となった場合でも、自己資金を用いてローカル・コンサルタントを採用可であること、から国際協力銀行が承認したものの。過去のBAACのサブローン実施実績からの判断であり、妥当と思料される。コンサルティング・サービス分の貸付承諾額はサブローンの貸付に充当された。

貸付承認額の100%、3,532百万円が、サブローンとして個人農民10,564戸、農業協同組合（AC）および農業協同市場（AMC）26団体に貸付実行された。個人農民へのサブ・ローン実行は順調であったが、ACおよびAMCへの貸付は進まなかった。

地方農村開発信用事業（3）

サブローンの対象項目基本的な事業範囲の変更は無かった。貸付承認額の100%、8,350百万円が個人農家8,605戸に対し実行された。作物生産・農業関連活動ともに、順調に貸付され、畜産が119%、果物・果樹（植林含む）が116%、各々予定融資額を上回ったが、養蚕の需要は少なく、実行額は計画の1.1%であった。

地方農村開発信用事業（4）

サブローン対象項目の基本的な事業範囲に変更は無かった。貸付承認額の100%、4,228百万円が、個人農家5,897戸へ貸付実行された。植林への融資結果は、予定額2,114百万円のほぼ100%で2,166百万円である。作物生産では、畜産への融資額が最も多く、1,138百万円で予定額の224%となったが、漁業、養蚕への融資額は少なく、漁業は、融資予定額の95%、養蚕については、実行額はゼロであった。

地方農村開発信用事業（5）

本事業は現在進行中の事業である（2003年1月貸付完了予定）。事業全体では、99年3月時点で貸付承諾全額12,300百万円の84.1%に達し、個人農家33,754戸への貸付が順調に行われている。しかしながら、植林事業、バイオガスプラントへのサブローン貸付が進展していない。両事業に対する潜在的需要はあるが、現在のタイ国内の金融および経済情勢を反映して、当座の収益が上がらない同事業に対する投資に個人農民が積極的でない。両サブローンの現在の進捗状況では、対象項目間の資金配分変更を行っての貸付期限内での完了の必要性も出てくるだろう。又、今後の借款に関しても、関係各機関での融資条件の見直し、サブローン対象項目・金額の妥当性の検討、を行う必要も出てくる可能性がある。

(2) 実施体制・債権管理体制

組織

実施機関の農業・農業協同組合銀行（BAAC）は、1943年に設立された農業協同銀行（BAC）がBAAC法の制定により、1966年に国営公社として改変した組織であり、農業振興のため、農民および農業関連機関に対する銀行業務に携わっている。政府の農業政策を支援する形で業務方針が策定され、特に低所得農民に対する融資条件を提供することにより所得格差の是正に努める方針を採っている。本店・支店を含んだ全職員は全国76県で13,382人である。

審査体制

本店組織は、1999年9月現在8グループ（部局）に分かれており、その中のローングループが百万パーツ以上の貸付を決裁し、百万パーツ以下については支店管理グループの管理下に配置された各支店の支店長により決裁されている。さらに、全国に配置された667箇所の地区支店、ミニ支店、更にその下に配置された全国で884の現地事務所勤務する貸付係が農民と直に接触し、貸付の勧誘を行っている。

本事業での審査体制

上記基準により、本事業におけるサブローンの貸付審査のほとんどが支店の判断、それも実質的に貸付係の判断で決まる体制となっている。貸付係は、本店の方針に従い貸付勧誘を行っているが、本事業に関しては、上述のとおり（(1)

サブローン実績参照) 予算枠が消化されなていない対象項目もあるという問題が生じている(特に植林・バイオガス)。さらに、本店・支店間の意志疎通を図り、以下の対策を講ずる必要があると思われる。

(i) サブローンの詳細な資金計画の策定およびそれに基づいた支店への資金配分。

(ii) 特定の資金使途別の貸出促進のための特別班の設置。

(iii) サブローン進捗状況把握のためのコンピューターによる監理システム構築。

(iv) データベースを利用した顧客情報の収集および環境保全事業の貸付増加のための情報収集、並びに、農業政策・補助金・マーケットトレンド等の情報提供、技術支援を通じた投資活動の促進。

(v) 職員の研修、個人向け長期貸付の金利見直し、などサービスの向上。

業況・債権管理

BAACの1997年度(1998年3月末)での貸付実行総額は125,255百万パーツである。そのうち107,126百万パーツ(85.5%)が本事業の対象となっている個人農民への貸付額である。BAACは過去5年間、総資産額を年平均で20%を超える増加率で伸ばしており、1998年3月末では228,720百万パーツに達している。それに応じ純利益も年平均で10%を超える伸びを示しており、1998年3月末で1,377百万パーツである。しかしながら、1997年7月以降の経済危機の影響により資本金は前年度の12,167百万パーツから6,691百万パーツに、純利益は約5%の減少となっている。延滞債権の占める割合は、1999年3月時点で20.8%であったが、6月には17%とピークアウトしており、また、他政府系金融機関と比べても、決して高い数字では無いものの、今後も業況を注意する必要がある。当該事業においては、(4)期事業のサブローンについてのみ、延滞債権51百万パーツ(1,801件)、延滞率4.9%とPCRで報告されているが、他事業についても、事後監理が必要であろう。

リボルビング・ファンド

BAACは、特別勘定を設け、二次貸付を実行することになっている。(2)期事業については34.65%の二次貸付率が報告されているが、その他の借款対象事業については、現在のところ、二次貸付は実行されていない。

環境配慮

BAACは、事業審査の段階において、諸基準を満たしているか否かのチェックをおこなっており、水質汚濁、森林破壊等による環境への影響が予想される場合は、融資を行わない方針である。

3 事業効果

本事業のサブローンの受益者は、個人農家で58,820戸に上る。

本事業については、農業生産性の向上、農業関連活動の活性化、環境保護等、多面的な効果が発現していると考えられる。その一例として、農家活動、所得への影響は、有効回答者数240名に対するアンケート調査結果によれば、農業投資の実施前後を比較すると、農業関連活動および農業以外の活動を含めた農家一戸当たりの年収が171千パーツから259千パーツへと増加し、農家余剰は62千パーツから93千パーツへと増加した。回答者の7割近くの農民が投資は成功したと考えており、具体的には、生産量の増加・所得の増加・生活の改善などが、本事業の結果得られた、と回答している。

表1 サブローン融資額及び実績

サブローン融資計画項目	地方農村開発信用事業(2)					
	計画			実績		
	円借款分 百万円	BAAC 百万パーツ	合計 百万円	サブローン 実績額 百万パーツ	サブローン 実績額 百万円	実績額の 本行融資分 との比率(%)
A:個人農民(作物生産)						
果樹・木本作物	1,163	65	1,450	79	317	27.2
漁業	483	28	607	84	336	69.7
家畜、酪農	677	39	849	257	1,030	152.1
食用作物、野菜	775	44	969	391	1,566	202.0
養蚕	63	3	76	3	11	17.1
花、鑑賞用植物	67	4	85	28	110	164.4
小計	3,228	183	4,037	842	3,370	104.4
B:農業協同組合						
(1)BAAC/ANC	176	10	220	6	22	12.7
(2)AC	88	5	110	35	140	159.2
小計	264	15	330	41	163	51.5
C:コンサルティング・サービス						
雇人費 小計	40	1	44	0	0	0.0
合計	3,532	199	4,411	883	3,532	100.0
為替レート	4.40			4.00		

サブローン融資計画項目	同(3)					
	計画			実績		
	円借款分 百万円	BAAC 百万パーツ	合計 百万円	サブローン 実績額 百万パーツ	サブローン 実績額 百万円	実績額の 本行融資分 との比率(%)
A:個人農民(作物生産)						
果樹・木本作物、植林も含む	1,810	125	2,263	477	2,094	115.7
漁業	362	25	453	53	232	64.1
家畜、酪農、養鶏	2,895	200	3,619	785	3,442	118.9
食用作物、野菜	1,448	100	1,810	213	933	64.5
養蚕	217	15	271	1	2	1.1
蘭、その他の切り花	148	11	188	19	82	55.5
小計	6,880	476	8,603	1,547	6,786	96.6
B:個人農民(農業関連活動)						
小計	1,470	102	1,839	356	1,564	106.4
合計	8,350	578	10,442	1,903	8,350	100.0
為替レート	3.62			4.39		

表2 サブローン融資額及び実績（未完了の第（５）期事業を含む）

サブローン融資計画項目	同（４）					
	計画			実績		
	円借款分 百万円	BAAC 百万パーツ	合計 百万円	サブローン 実績額 百万パーツ	サブローン 実績額 百万円	実績額の 本行融資分 との比率(%)
A：個人農民（植林）						
小計	2,114	125	2,639	651	2,165	102.4
B：個人農民（作物生産）						
果樹・木本作物	423	25	528	153	525	124.0
漁業	423	25	528	12	40	9.5
家畜、酪農、養鶏	507	30	633	332	1,138	224.4
食用作物、野菜	338	20	422	44	151	44.5
養蚕	169	10	211	-	0	0.0
蘭、その他切り花及び複合農業	254	15	317	61	210	82.5
小計	2,114	125	2,639	601	2,062	97.6
合計	4,228	250	5,278	1,253	4,228	101.6
為替レート	4.20			3.43		

サブローン融資計画項目	同（５）					
	計画			実績		
	円借款分 百万円	BAAC 百万パーツ	合計 百万円	サブローン 実績額 百万パーツ	サブローン 実績額 百万円	実績額の 本行融資分 との比率(%)
A：個人農民（植林）						
小計	3,075	162	3,845	85	359	11.7
B：個人農民（環境保全）						
バイオガスプラント及び関連 施設の建設 小計	1,230	67	1,547	8	32	2.6
C：個人農民（作物生産）						
果樹・木本作物	2,460	129	3,073	693	2,924	118.9
漁業	815	31	963	42	176	28.7
家畜、酪農、養鶏	1,230	65	1,539	1,170	4,933	401.1
食用作物、野菜	1,599	84	1,998	350	1,474	92.2
養蚕	815	31	964	0	1	0.2
蘭、その他切り花及び複合農業	1,476	78	1,847	106	447	30.3
小計	7,995	419	9,983	2,361	9,956	124.5
合計	12,300	648	15,375	2,453	10,347	84.1
為替レート	4.75			4.22		



とうもろこし畑



植林事業